

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652**「京銀まちづくりファンド」第3号案件への投資について**
～鶴ヶ岡まちづくり株式会社へ投資～
(NIPPONIA 美山鶴ヶ岡 山の郷 開業)

京都銀行（頭取 安井 幹也）が、一般財団法人 民間都市開発推進機構（理事長 花岡 洋文）との共同出資により設立した「京銀まちづくりファンド」は、第3号投資案件として、「鶴ヶ岡まちづくり株式会社」へ投資いたしました。

「鶴ヶ岡まちづくり株式会社」は、美山鶴ヶ岡エリアの住民により組成された鶴ヶ岡振興会、地元の建設事業者である株式会社 木村、全国でまちづくり事業を手掛ける株式会社 NOTEの三者が共同出資し、設立した特別目的会社（SPC）です。

同社は、地域資源を活用し、地域のにぎわいと生業の創出・持続的な活性化を目的に、地域の古民家を宿泊施設へと改修し、地域住民・地域関係者の運営関与による分散型地域の宿泊施設「NIPPONIA 美山鶴ヶ岡 山の郷（ニッポニア みやまつのがおか やまのさと）」として創業するものであり、美山町内での滞在型観光活性化の一翼を担うことが期待されています。

京都銀行グループでは、今後も公民連携を図り、より一層地域の発展と成長に貢献できるよう努めてまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	鶴ヶ岡まちづくり株式会社
代表者	代表取締役 藤原 岳史
所在地	京都府南丹市美山町鶴ヶ岡新釈迦堂前1番地
設立	2022年9月
事業内容	地域資源である空き家を宿泊施設へ改修し、地域住民・地域関係者による運営によって、地域のにぎわいと生業を創出するなどのエリアマネジメントを行う
共同出資者	鶴ヶ岡振興会 株式会社 木村 株式会社 NOTE

2. 投資について

「鶴ヶ岡まちづくり株式会社」への本件投資により、京都府南丹市美山町鶴ヶ岡エリアにおける古民家の宿泊施設への改修費として活用される。

「NIPPONIA 美山鶴ヶ岡 山の郷」

「NIPPONIA 美山鶴ヶ岡 山の郷」は鶴ヶ岡地域内の空き古民家を宿泊施設として再生した分散型ホテル。

訪れたお客さまが「一日の村人」として地域に溶け込み、継続的に鶴ヶ岡地域を訪れるような滞在プラン、体験プログラムを提供される。

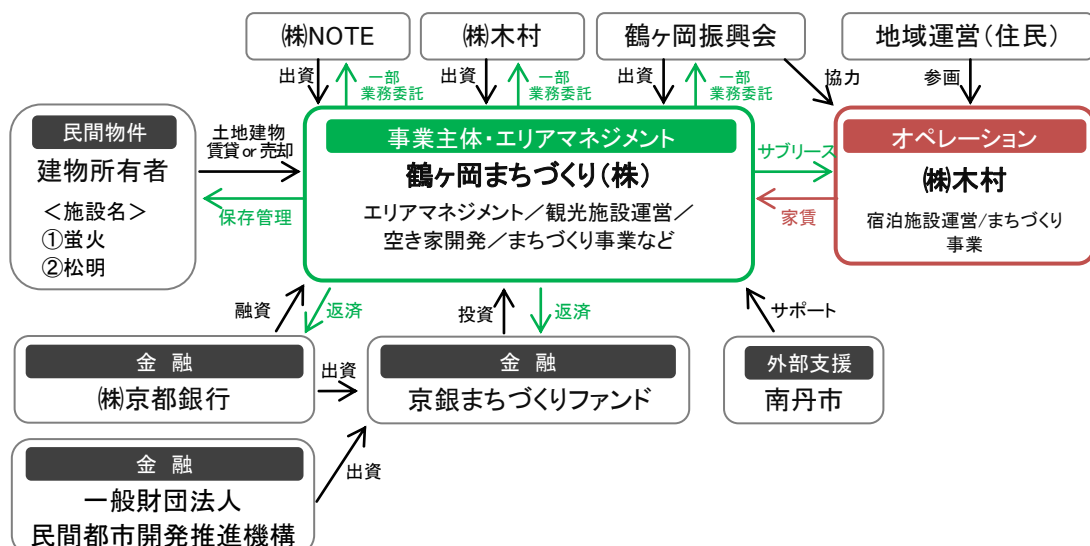
①蛍火 (HOTARUBI)



②松明 (MATSUAKARI)



3. 案件スキームのイメージ図



4. 京銀まちづくりファンドの概要

名 称	京銀まちづくりファンド有限責任事業組合 (略称：京銀まちづくりファンド)
投資対象事業	対象エリアにおいて、空き家、空き店舗、空き公共施設、赤れんが倉庫、古民家等をリノベーション等により活用し、商業施設・宿泊施設・交流施設・業務施設等を整備・運営することで地域の課題解決に資する事業
投資対象エリア	宇治市・舞鶴市・南丹市の特定エリア <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市都市計画マスタープランにおける中枢拠点を含むエリアと天ヶ瀬ダムを中心とするエリア及びその周辺 ・JR東舞鶴駅から中心商店街を経て赤れんがパークエリアや旧市民病院跡地に至るエリア及びその周辺 ・南丹市景観計画における景観計画区域に指定した南丹市美山地域を含むエリアおよびその周辺
有限責任組合員 (LP)	株式会社 京都銀行、一般財団法人 民間都市開発推進機構
ファンド総額	2億円
当行出資額	1億円
設 立	2021年1月15日(金)
存続期間	20年

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

